



# 2016年12月期 第1四半期決算資料

株式会社 ティー・ワイ・オー

2016年12月12日

# 1. 連結決算

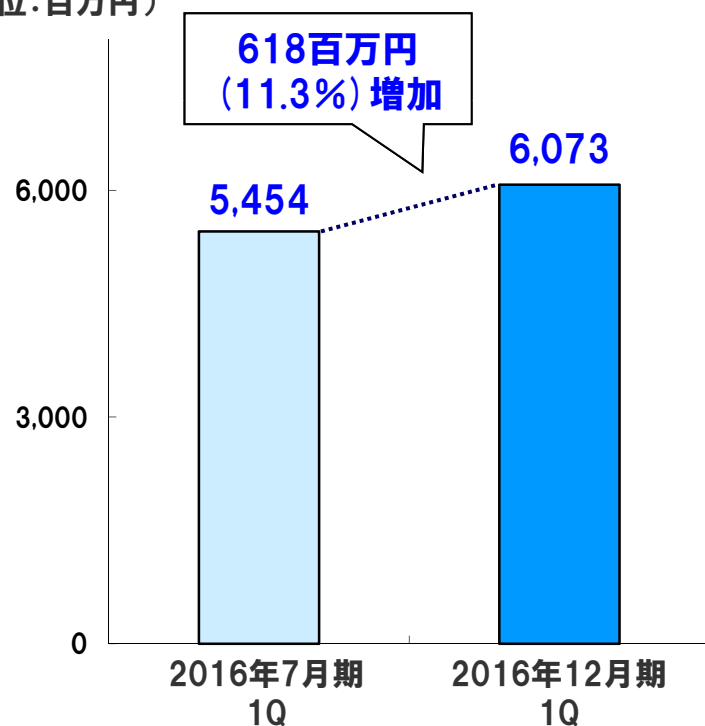


## 1.1. 決算ハイライト

業績不振となった前1Q比で、好調な案件受注により増収。  
各段階利益において着実に利益を確保。

【売上高】

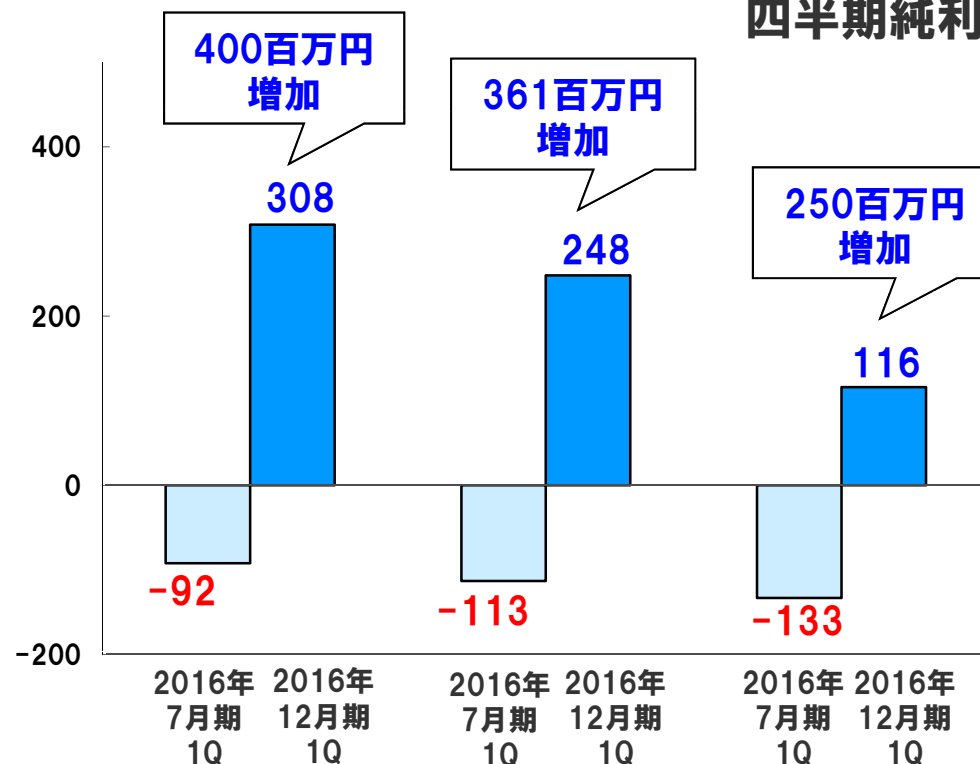
(単位:百万円)



【営業利益】

【経常利益】

【親会社株主に  
帰属する  
四半期純利益】



## 1.2.1. 連結損益計算書サマリー

(単位:百万円)	2016.7月期.1Q		2016.12月期.1Q		増減額	増減率	
	金額	百分比	金額	百分比			
売上高	5,454	-	6,073	-	618	11.3%	✓案件受注が好調に推移し、前期実績を超える売上高を確保。
売上原価	4,687	85.9%	4,864	80.1%	177	3.8%	✓案件受注段階からの厳格な精査・選別、収益管理の徹底強化により、 <b>売上総利益率は5.8ポイント上昇。</b>
売上総利益	767	14.1%	1,208	19.9%	440	57.5%	
販売管理費	859	15.8%	899	14.8%	40	4.7%	✓売上高増加、新会社の費用計上により、販管費は前期比で増加。
営業利益	-92	-1.7%	308	5.1%	400	-	
営業外収益	16	0.3%	36	0.6%	20	120.2%	✓売上高の増加及び利益率の改善により、308百万円の営業利益を確保。
営業外費用	37	0.7%	96	1.6%	59	157.6%	
経常利益	-113	-2.1%	248	4.1%	361	-	
特別利益	1	0.0%	4	0.1%	3	715.6%	
特別損失	0	0.0%	1	0.0%	1	612.1%	
税金等調整前 四半期純利益	-112	-2.1%	251	4.1%	364	-	
法人税等合計	26	0.5%	139	2.3%	112	424.1%	
非支配株主に帰属 する当期純利益	-5	-0.1%	-3	-0.1%	1	-	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	-133	-2.5%	116	1.9%	250	-	

## 1.2.2. 広告主業種\_Top10

電気・情報通信、衣料、自動車向け売上が引き続き好調。

### 【業種別 売上高Top10】

	2016年7月期1Q(累計)	2016年12月期1Q(累計)
1位	電気・情報通信	電気・情報通信
2位	衣料・繊維・服飾	衣料・繊維・服飾
3位	飲料	車両・交通器具・工業機械
4位	車両・交通器具・工業機械	娯楽・エンターテインメント
5位	娯楽・エンターテインメント	飲料
6位	教養・出版・情報	化粧品・衛生・医療
7位	流通関係・レストラン	流通関係・レストラン
8位	化粧品・衛生・医療	菓子
9位	金融・保険	教養・出版・情報
10位	食品	食品

## 1.3.1. 連結貸借対照表①

(単位:百万円)	2016年7月期	2016年12月期10	増減
<b>流動資産</b>	11,021	11,227	206
現金及び預金	4,112	4,013	-99
受取手形及び売掛金	5,017	4,648	-369
仕掛品	1,371	2,078	707
その他	530	491	-38
貸倒引当金	-11	-4	6
<b>固定資産</b>	3,852	3,720	-132
有形固定資産	2,040	2,041	0
無形固定資産	180	158	-21
投資その他の資産	1,631	1,520	-111
投資有価証券	589	558	-30
繰延税金資産	150	45	-104
その他	895	926	31
貸倒引当金	-2	-10	-7
<b>資産合計</b>	14,873	14,948	74

✓ 受注残高が前期末比で453百万円増加したことにより、仕掛品増加。

## 1.3.2. 連結貸借対照表②

(単位:百万円)		2016年7月期	2016年 12月期1Q	増減
負債の部	流動負債	5,360	6,178	817
	買掛金	3,049	3,180	130
	短期借入金、 1年内返済予定長期借入金	600	1,600	1,000
	未払金、未払消費税等、 未払法人税等	1,318	629	-689
	その他	391	768	376
	固定負債	3,362	2,852	-510
	長期借入金	2,125	1,975	-150
	その他	1,237	877	-360
	負債合計	8,722	9,030	307
純資産の部	株主資本	5,752	5,556	-195
	資本金	1,850	1,850	0
	資本剰余金	846	846	0
	利益剰余金	3,055	2,859	-195
	自己株式	-0	-0	-
	その他の包括利益累計額	-44	-82	-38
	新株予約権	148	164	16
	非支配株主持分	294	279	-15
	純資産合計	6,151	5,918	-233
負債純資産合計	14,873	14,948	74	

✓約定返済に伴う減少により  
長期借入金は減少。

✓親会社株主に帰属する四半期純利益  
116百万円を計上した一方、  
配当金311百万円の支払いにより  
前期末比で減少。

## 2. セグメント業績

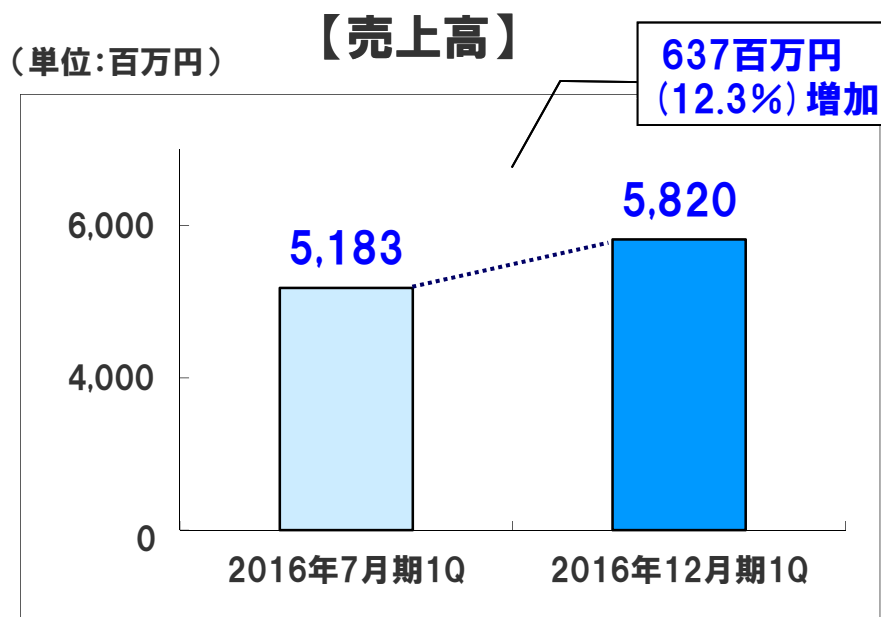




## 2.1. 広告事業

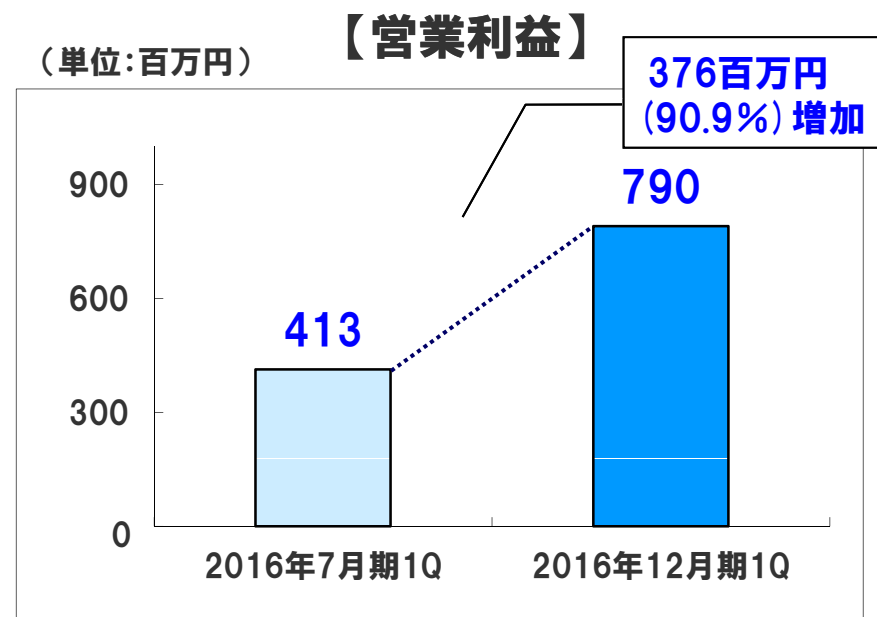


案件受注が好調に推移・広告主直接取引の躍進により、  
前年同四半期比で増収増益。



✓ 広告主直接取引での新規大型案件の獲得・既存案件の大型化等をはじめとして案件受注が好調に推移。

✓ 売上高は前期比で637百万円(12.3%)増加。



✓ 案件受注段階からの厳格な精査・選別、売上原価管理の徹底により利益率は大幅に改善。

✓ 営業利益は前期比で376百万円(90.9%)増加。

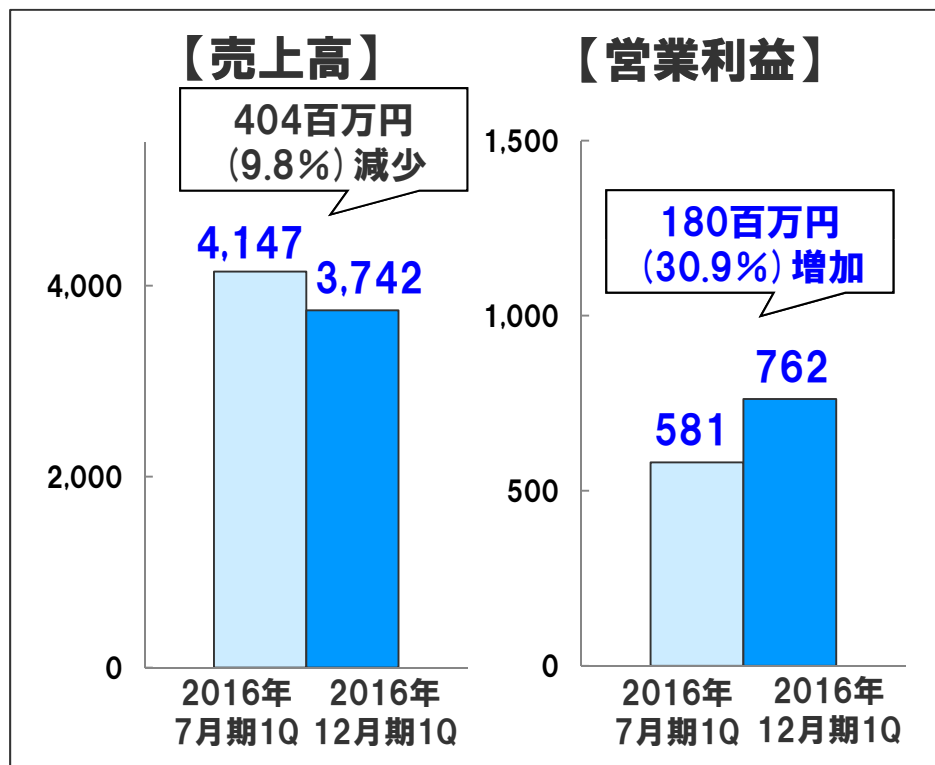
## 2.1.2.セグメント業績

### 広告事業

:内訳(取引形態別)

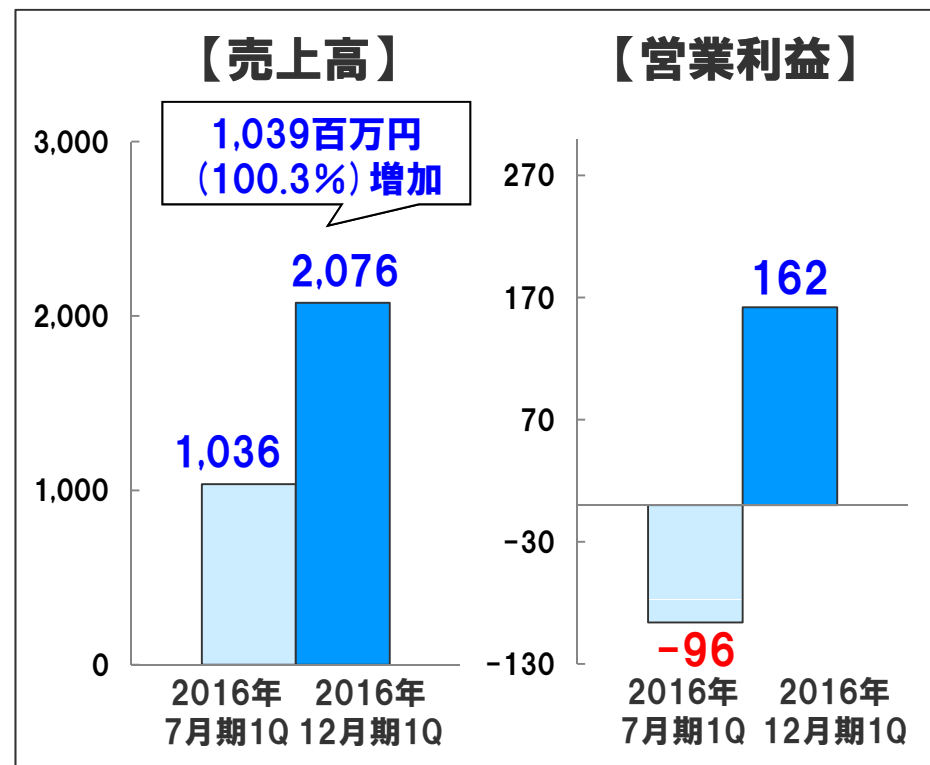
#### 広告代理店取引

(単位:百万円)



#### 広告主直接取引

(単位:百万円)



✓ 一部大型クライアントからの案件受注停滞等により、売上高は前期比で減少。

✓ 案件受注段階からの厳格な精査・選別、収益管理の徹底により、営業利益は前期比で増加。

✓ イベント等大型案件受注・既存案件の大型化等、売上高は前期比で躍進。

✓ 海外子会社の業績不振があった前期比で、増収効果もあり着実に利益を確保。

※ 売上高: 外部顧客売上合算

営業利益: 部門別営業利益合算(連結調整前)

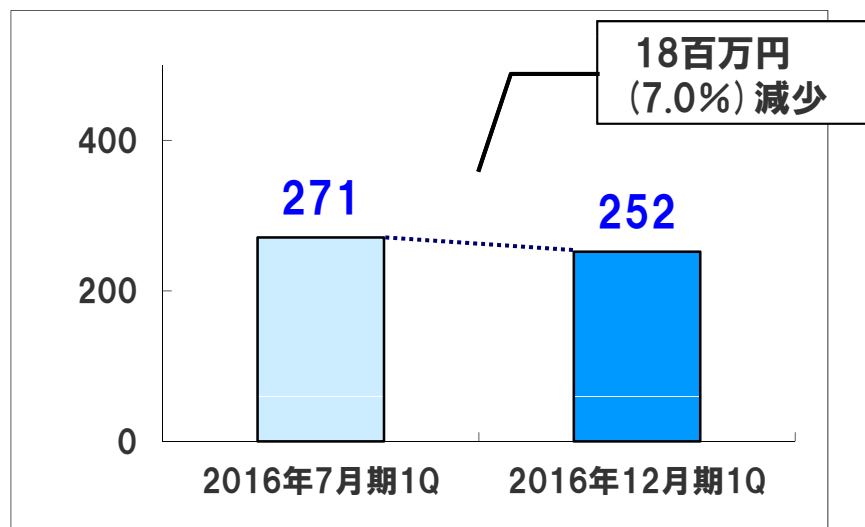
(広告主直接取引のTV-CMの営業利益は「広告主直接取引」に計上) highly confidential ©TYO

## 2.2. 映像関連事業



売上高は前期比で減少したものの、  
高利益率案件の獲得等により利益面は改善。

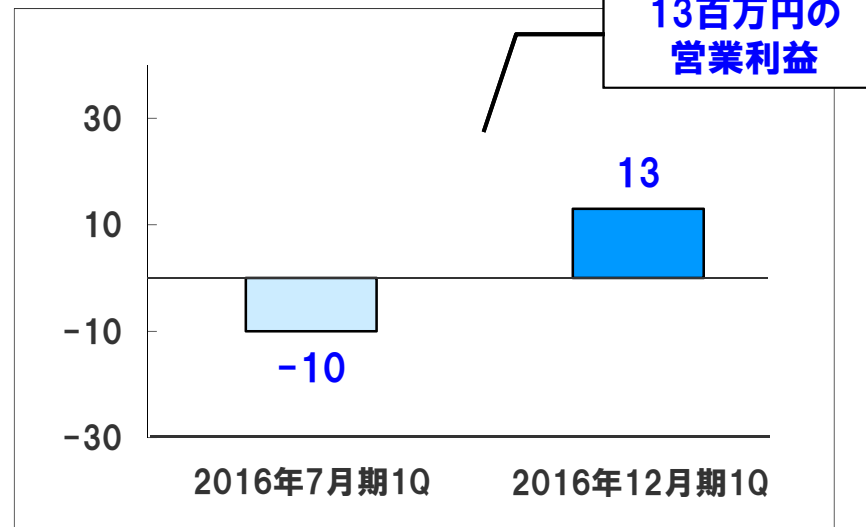
(単位:百万円) 【売上高】



- ✓アニメ制作では受注規模縮小。
- ✓ミュージックビデオ制作では大型案件の受注、受注規模拡大・案件単価上昇。

✓売上高は前期比で18百万円(7.0%)減少。

(単位:百万円) 【営業利益】



- ✓ミュージックビデオ制作における利益率の改善により、事業全体で利益を確保。

✓売上高は前期比で減少したものの、13百万円の営業利益を確保。

### 3. 最近のニュース



### 3. 最近のニュース

#### ■ (株)TYOデジタル・ワークスの始動

本年11月、当社ID事業部と 連結子会社コムとの統合により、「(株)TYOデジタル・ワークス」へ商号変更。

##### 【子会社の新施策】

- ① ハイエンドなプロダクションワークから、WEBサイトマネジメント、各種デバイスのアプリ・バックエンドシステム開発、動画制作までワンストップで提供。
- ② 就労形態の多様化、ワークライフバランスの適正化を目指し、“ワークスタイル変革”を実践。

〔例〕リモートワークの許可、東京から離れた地方へのサテライトオフィス設立を予定。



##### 《子会社の概要》

商号	(株)TYOデジタル・ワークス
代表者の役職名	代表取締役社長 尾藤博史
資本金	74百万円

#### ■ (株)ベストインクラスプロデューサーズとの業務提携

##### 【背景】

本年11月、「体験設計サービス」の新規事業化を目指し、(株)ベストインクラスプロデューサーズと業務提携を行い、「ベスト・イン・クラス・パートナーズ」へ参画。

##### 〔ベスト・イン・クラス・パートナーズ〕

(株)ベストインクラスプロデューサーズを主幹事として、各広告関連領域等を専門とする23社の参画企業の連携により、クライアントのデジタルマーケティングコミュニケーションの支援業務を行う。

##### 【効果】

- ・従来とは異なるチャネルとのコネクションにより、新規クライアント獲得の機会拡大。
- ・参画企業の連携により、クライアントへ専門領域を超えた包括的なサービス提供を実現。
- ・デジタルマーケティング領域の知見・ノウハウを実践的に獲得。

## 4. 数値計画





## 4. 業績予想

2016年12月期は、5ヶ月間(8月1日～12月31日)の変則決算、12月31日を基準日として1株当たり2円の配当を予定。

### 【2016年12月期 通期業績予想】

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	配当金
通期	10,800	320	240	110	2円
※前期実績	—	—	—	—	—

※平成28年8月より決算期を7月31日から12月31日へ変更。

決算期変更の経過期間である2016年12月期は

2016年8月1日～2016年12月31日の5ヶ月間となるため、

前期実績(2015年8月1日～2015年12月31日)については公表していません。

- ・ 本資料で提供している情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございます。予めご了承ください。
- ・ 本資料には、当社の現在の計画、及びその業績に関する将来の見通しが含まれています。これらの見通しは、将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与うるリスクや不確実な要素が含まれています。実際の業績は、さまざまな要因により、これらの見通しとは異なることがあります。
- ・ 本資料は、有価証券の売出し、販売、勧誘を構成するものではありません。

何かご不明な点等ございましたら、下記までご連絡下さい。

TYO経営企画部 (03-5434-1586)